

次世代シーケンスによる消化管腫瘍のゲノム解析

1. 研究の対象

- 1) 共同研究機関（検体提供施設）において、消化管腫瘍と診断され、腫瘍組織の検体が保存されている方
- 2) 上記を満たす方において、研究残余試料の利用の二次利用同意がある方
- 3) 対象症例期間：2010年4月1日から2025年3月31日まで

2. 研究目的・方法

本研究は、消化管腫瘍の遺伝子異常の検索を行うことで、遺伝子レベルでの原因を明らかとすることにより、有効かつ副作用の少ない治療法の開発を目指すものです。具体的には検体からDNA・RNAを抽出し、遺伝子異常を解析します。

研究期間：研究許可日から2025年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術・内視鏡治療・生検の際に得られた腫瘍組織、正常細胞（末梢血他）等

情報：年齢、再発の有無、治療内容、予後 等

4. 外部への試料・情報の提供

遺伝情報を含む本研究の成果は、提供者の氏名などの個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌およびデータベース等で公表し、今後の医学の発展のために活用される機会を提供する可能性があります。公開するデータベースとしては、科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター(NBDC)など、一定の制限（審査）のもとで公開されるシステムを有するデータベースを活用します。

5. 研究組織

国立がん研究センター研究所 片岡圭亮

慶應義塾大学病院 矢作直久

慶應義塾大学病院 一般・消化器外科 北川雄光

慶應義塾大学 医学部 坂口光洋記念講座 佐藤俊朗

京都大学大学院医学研究科・医学部 消化器内科学 妹尾浩

神戸大学大学院医学研究科内科学講座 消化器内科学分野 児玉裕三

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター研究所分子腫瘍 分子腫瘍学分野 堀江 沙良

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511 FAX: 03-5565-0727

研究責任者：

国立がん研究センター研究所 分子腫瘍学分野 片岡圭亮

研究代表者：

国立がん研究センター研究所 分子腫瘍学分野 片岡圭亮

(2021年12月6日 第1.2版)